

WORLD ANTI-DOPING CODE
INTERNATIONAL
STANDARD

世界アンチ・ドーピング規程

禁止表国際基準

PROHIBITED LIST



WORLD
ANTI-DOPING
AGENCY
play true

2016年1月1日発効



スポーツ振興くじ助成事業

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

WADA開発・運用

禁止表国際基準をモバイルサイト、iPhoneアプリとGlobal DRO JAPANでいつでもアクセス！

モバイルサイト



iOSアプリ



Global DRO JAPAN



・無料
・検索名
“WADA Prohibited List”

世界アンチ・ドーピング規程

国際基準

The World Anti-Doping Code

INTERNATIONAL
STANDARD

禁止表国際基準

Prohibited List

2016 年 1 月

2016年禁止表国際基準は英文版が原本となります。
本国際基準の英語版と日本語版に差異がある場合には、英語版が優先されます。



英語原本を参照し、禁止物質に関しては、見出しをつけています。
英語原本を参照の際、ご活用下さい。

目次

2016 年禁止表国際基準(日本語)	1
---------------------------------	---

2016 年禁止表 主要な変更の要約と注釈(日本語)	13
----------------------------------	----

2016 年禁止表国際基準	14
----------------------------	----

– 2016 年禁止表 主要な変更の要約と注釈.....	21
------------------------------	----

2016 年監視プログラム(日本語)	22
---------------------------------	----

2016 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈(日本語).....	23
-------------------------------------	----

2016 年監視プログラム	24
----------------------------	----

– 2016 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈.....	25
----------------------------------	----

監視プログラムについて

世界アンチ・ドーピング規程(4.5)では「WADA は、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されてはいないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。」と定めています。監視プログラムに掲載される物質は、WADA が監視することを必要と位置付けた物質であり、当該年における禁止物質ではありません。

世界アンチ・ドーピング規程の 4.2.2 条に従い、すべての禁止物質は「特定物質」として扱われる。但し、禁止物質 S1, S2, S4.4, S4.5, S6.a および禁止方法 M1, M2 および M3 は除く。

常に禁止される物質と方法（競技会（時）および競技会外）

禁 止 物 質

S0. 無承認物質

禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在どの政府保健医療当局でも承認されていない薬物（例えば、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物、デザイナードラッグ、動物への使用のみが承認されている物質）は常に（競技会（時）および競技会外）禁止される。

S1. 蛋白同化薬

蛋白同化薬は禁止される。

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)

a. 外因性* AAS:例として以下の物質がある。

- [1] **1-アンドロステンジオール**（5 α -アンドロスタ-1-エン-3 β , 17 β -ジオール）；
1-アンドロステンジオン（5 α -アンドロスタ-1-エン-3, 17-ジオン）；
1-テストステロン（17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン）；
- [4] **4-ヒドロキシテストステロン**（4, 17 β -ジヒドロキシアンドロスタ-4-エン-3-オン）；
- [19] **19-ノルアンドロステンジオン**（エストラ-4-エン-3, 17-ジオン）；
- [B] **ボランジオール**（エストラ-4-エン-3 β , 17 β -ジオール）；
ボラステロン；
ボルデノン；
ボルジオン（アンドロスタ-1, 4-ジエン-3, 17-ジオン）；
- [C] **カルステロン**；
クロステボール；
- [D] **ダナゾール**（[1, 2]オキサゾロ[4', 5':2,3]プレグナ-4-エン-20-イン-17 α -オール）；
デヒドロクロロメチルテストステロン
（4-クロロ-17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン）；
デスオキシメチルテストステロン（17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-2-エン-17 β -オール）；
ドロスタノロン；
- [E] **エチルエストレノール**（19-ノルプレグナ-4-エン-17 α -オール）；
- [F] **フルオキシメステロン**；
ホルメボロン；
フラザボール（17 α -メチル[1,2,5]オキサジアゾロ[3',4':2, 3]-5 α -アンドロスタ-17 β -オール）；
- [G] **ゲストリノン**；
- [M] **メスタノロン**；

メステロン；
 メタンジエノン（17β-ヒドロキシ-17α-メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン）；
 メテノロン；
 メタンドリオール；
 メタステロン（17β-ヒドロキシ-2α, 17α-ジメチル-5α-アンドロスタン-3-オン）；
 メチルジエノン（17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4, 9-ジエン-3-オン）；
 メチル-1-テストステロン（17β-ヒドロキシ-17α-メチル-5α-アンドロスタ-1-エン-3-オン）；
 メチルノルテストステロン（17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4-エン-3-オン）；
 メチルテストステロン；
 メトリボロン（メチルトリエノロン、17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4, 9, 11-トリエン-3-オン）；
 ミボレロン；
 [N] ナンドロロン；
 ノルボレトン；
 ノルクロステボール；
 ノルエタンドロロン；
 [O] オキサボロン；
 オキサンドロロン；
 オキシメステロン；
 オキシメトロン；
 [P] プロスタノゾール（17β- [(テトラヒドロピラン-2-イル)オキシ] -1' H -ピラゾロ [3',4':2,3] -5α-アンドロスタン）；
 [Q] キンボロン；
 [S] スタノゾロール；
 ステンボロン；
 [T] テトラヒドロゲストリノン（17-ヒドロキシ-18α-ホモ-19-ノル-17α-プレグナ-4, 9, 11-トリエン-3-オン）；
 トレンボロン（17β-ヒドロキシエストラ-4,9,11-トリエン-3-オン）；

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

b. 外因的に投与した場合の内因性 AAS：**

- [A] アンドロステンジオール（アンドロスタ-5-エン-3β, 17β-ジオール）；
 アンドロステンジオン（アンドロスタ-4-エン-3, 17-ジオン）；
- [D] ジヒドロテストステロン（17β-ヒドロキシ-5α-アンドロスタン-3-オン）；
- [P] プラステロン（デヒドロエピアンドロステロン、DHEA、3β-ヒドロキシアンドロスタ-5-エン-17-オン）；
- [T] テストステロン；

および以下の代謝物と異性体が含まれるが、これらに限定するものではない：

- 3β** **3β**-ヒドロキシ-5α-アンドロスタン-17-オン；
- 5α** **5α**-アンドロスタン-3α, 17α-ジオール；
5α-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール；
5α-アンドロスタン-3β, 17α-ジオール；
5α-アンドロスタン-3β, 17β-ジオール；
- 5β** **5β**-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール；
- 7α** **7α**-ヒドロキシ-DHEA；
- 7β** **7β**-ヒドロキシ-DHEA；
- 4** **4**-アンドロステンジオール（アンドロスタ-4-エン-3β, 17β-ジオール）；
- 5** **5**-アンドロステンジオン（アンドロスタ-5-エン-3, 17-ジオン）；
- 7** **7**-ケト-DHEA；
- 19** **19**-ノルアンドロステロン；
19-ノルエチオコラノロン
- A** **A**ンドロスタ-4-エン-3α, 17α-ジオール；
アンドロスタ-4-エン-3α, 17β-ジオール；
アンドロスタ-4-エン-3β, 17α-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3α, 17α-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3α, 17β-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3β, 17α-ジオール；
アンドロステロン；
- E** **E**ピジヒドロテストステロン；
エピテストステロン；
エチオコラノロン；

2. その他の蛋白同化薬

例として以下の物質があるが、これらに限定されるものではない：

クレブテロール、選択的アンドロゲン受容体調節薬（SARMs; アンダリン、オスタリン等）、チボロン、ゼラノールおよびジルパテロール

このセクションにおいて、

*「外因性(exogenous)」とは、通常、体内で自然につくられない物質に対して用いる。

**「内因性(endogenous)」とは、通常、体内で自然につくられる物質に対して用いる。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

以下の物質および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される：

1. エリスロポエチン受容体作働薬：

1.1 赤血球新生刺激物質(ESAs)には以下の物質等が含まれる

ダルベポエチン(dEPO)；

エリスロポエチン(EPO)；

EPO-Fc；

EPO 模倣ペプチド(EMP) [CNTO 530、ペジネサタイド等]；メトキシポリエチレングリコール-エポエチンベータ(CERA)。

1.2 非赤血球新生 EPO 受容体作働薬

ARA-290；

アシアロ EPO；

カルバミル化 EPO 等

2. 低酸素誘導因子(HIF)安定薬[コバルトおよび FG-4592 等]；および HIF 活性化因子[アルゴン、キセノン等]；

3. 男性における絨毛性ゴナドトロピン(CG)および黄体形成ホルモン(LH)およびそれらの放出因子[ブセレリン、ゴナドレリン、リュープロレリン等]；

4. コルチコトロピン類およびそれらの放出因子 [コルチコレリン等]；

5. 成長ホルモン (GH) およびその放出因子には以下の物質が含まれる：

成長ホルモン放出ホルモン(GHRH)およびその類似物質[CJC-1295、セルモレリン、およびテサモレリン等]；成長ホルモン分泌促進物質(GHS) [グレリン、グレリン模倣物質 (アナモレリン、イパモレリン等)]；

成長ホルモン放出ペプチド(GHRPs) [アレキサモレリン、GHRP-6、ヘキサレリン、プラルモレリン(GHRP-2)等]

加えて以下の成長因子は禁止される：

- ☐ **F** 線維芽細胞成長因子類 (FGFs)；
- ☐ **H** 肝細胞増殖因子 (HGF)；
- ☐ **I** インスリン様成長因子-1 (IGF-1) および類似物質；
- ☐ **M** 機械的成長因子類 (MGFs)；
- ☐ **P** 血小板由来成長因子 (PDGF)；
- ☐ **V** 血管内皮増殖因子 (VEGF)；

筋、腱あるいは靱帯での蛋白合成/分解、血管新生、エネルギー利用、再生能あるいは筋線維組成の変換に影響を与えるその他の成長因子

S3. ベータ 2 作用薬

すべてのベータ 2 作用薬は、関連するすべての光学異性体（例えば、*d*体および/*l*体）を含めて禁止される。

但し、下記は除く：

- ・吸入サルブタモール（24 時間で最大 1600μg）；
- ・吸入ホルモテロール（24 時間で最大投与量 54μg）；および
- ・吸入サルメテロールが製造販売会社によって推奨される治療法

尿中のサルブタモールが 1000 ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが 40 ng/mL を越える場合は、治療を意図した使用とはみなされず、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを**競技者が**立証しないかぎり、**違反が疑われる分析報告(AAF)**として扱われることになる。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

以下のホルモン調節薬および代謝調節薬は禁止される：

1. アロマターゼ阻害薬としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

- | | |
|--------------|--|
| <div>4</div> | 4-アンドロステン-3, 6, 17-トリオン（6-オキシ）； |
| <div>A</div> | アミノグルテチミド； |
| | アナストロゾール； |
| | アンドロスタ-1, 4, 6-トリエン-3, 17-ジオン（アンドロスタトリエンジオン）； |
| <div>E</div> | エキセメスタン； |
| <div>F</div> | ホルメスタン； |
| <div>L</div> | レトロゾール； |
| <div>T</div> | テストラクトン。 |

2. 選択的エストロゲン受容体調節薬 (SERMs) としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

- | | |
|--------------|-----------------|
| <div>R</div> | ラロキシフェン； |
| <div>T</div> | タモキシフェン； |
| | トレミフェン。 |

3. その他の抗エストロゲン作用を有する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

- C** クロミフェン；
シクロフェニル；
F フルベストラント。

4. ミオスタチン機能を修飾する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：ミオスタチン阻害薬

5. 代謝調節薬：

- 5.1 AMP 活性化プロテインキナーゼ（AMPK）の活性化薬（AICAR 等）；
ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体デルタ（PPAR δ ）作働薬（GW1516 等）；
5.2 インスリン類およびインスリン模倣物質；
5.3 メルドニウム；
5.4 トリメタジジン

S5. 利尿薬および隠蔽薬

以下の利尿薬と隠蔽薬、および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- デスモプレシン；プロベネシド；血漿増量物質〔グリセロール、および以下の物質（アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトール）の静脈内投与等〕
- アセタゾラミド；アミロリド；ブメタニド；カンレノン；クロルタリドン；エタクリン酸；フロセミド；インダパミド；メトラゾン；スピロノラクトン；チアジド類（ベンドロフルメチアジド、クロロチアジド、ヒドロクロロチアジド等）；
トリウムテレン、パプタン類（トルパプタン等）

但し以下のものは除く：

- ドロスピレノン；パマプロム； および眼科用に使用される炭酸脱水酵素阻害薬（ドルゾラミド、布林ゾラミド等）
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与

常に（競技会（時）および競技会外）、あるいは**競技会（時）**それぞれの場合に応じて、利尿薬もしくは隠蔽薬とともに、閾値水準が設定されている物質（ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン）がいかなる用量でも**競技者の検体**から検出される場合は、**競技者**に対して、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても**治療使用特例（TUE）**が承認されていない限り、**違反が疑われる分析報告**として扱われることになる。

禁 止 方 法

M1. 血液および血液成分の操作

以下の事項が禁止される:

1. 自己血、他者血（同種血）、異種血又はすべての赤血球製剤をいかなる量でも循環系へ投与するあるいは再び戻すこと。
2. 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること〔過フルオロ化合物；、エファプロキシラール（RSR13）、修飾ヘモグロビン製剤（ヘモグロビンを基にした血液代替物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等）が含まれるが、これらに限定するものではない〕。但し、酸素自体の補給は除く。
3. 血液あるいは血液成分を物理的あるいは化学的手段を用いて血管内操作すること。

M2. 化学的および物理的操作

以下の事項が禁止される:

1. ドーピング・コントロールで採取された検体の完全性及び有効性を変化させるために改ざん又は改ざんしようとすることは禁止される。これらには尿のすり替え、尿の改質（蛋白分解酵素等）などが含まれるが、これらに限定するものではない。
2. 静脈内注入および/または6時間あたりで50mLを超える静脈注射は禁止される。但し、医療機関の受診過程※、外科手術、または臨床的検査において正当に受ける静脈内注入は除く。

※JADA 訳注：救急搬送中の処置、外来および入院中の処置を全て含む。

M3. 遺伝子ドーピング

以下の競技能力を高める可能性のある事項は禁止される:

1. 核酸のポリマーまたは核酸類似物質の移入；
2. 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用

競技会（時）に禁止される物質と方法

前文S0～S5、M1～M3に加えて、以下のカテゴリーは**競技会（時）**において禁止される。

禁 止 物 質

S6. 興奮薬

すべての興奮薬（関連するすべての光学異性体（例えば、*d*体および/*l*体）を含む）は禁止される。

興奮薬には以下の物質が含まれる：

a: 特定物質でない興奮薬：

- A** アドラフィニル；
アンフェプラモン；
アンフェタミン；
アンフェタミニル；
アミフェナゾール；
- B** ベンフルオレックス；
ベンジルピペラジン；
ブロマンタン；
- C** クロベンゾレックス；
コカイン；
クロプロパミド；
クロテタミド；
- F** フェンカミン；
フェネチリン；
フェンフルラミン；
フェンプロポレックス；
フォンツラセタム[4-フェニルピラセタム(カルフェドン)]；
フルフェノレックス；
- M** メフェノレックス；
メフェンテルミン；
メソカルブ；
メタンフェタミン（*d*体）；
p-メチルアンフェタミン；
モダフィニル；
- N** ノルフェンフルラミン；
- P** フェンジメトラジン；
フェンテルミン；
プレニラミン；

プロリンタン。

このセクションに掲載されていない興奮薬は特定物質の興奮薬である。

b: 特定物質である興奮薬：

以下の物質が含まれるがこれらに限定するものではない：

B ペンズフェタミン；

C カチン**；

カチノンおよび類似物(メフェドロン、メテドロン、 α -ピロリジノバレロフェノン等)；

D ジメチルアンフェタミン；

E エフェドリン***；

エピネフリン**** (アドレナリン)；

エタミバン；

エチルアンフェタミン；

エチレフリン；

F ファンプロファゾン；

フェンブトラザート；

フェンカンファミン；

H ヘプタミノール；

ヒドロキシアンフェタミン(パラヒドロキシアンフェタミン)；

I イソメテブテン；

L レブメタンフェタミン；

M メクロフェノキサート；

メチレンジオキシメタンフェタミン；

メチルエフェドリン***；

メチルヘキサンアミン(ジメチルペンチルアミン)；

メチルフェニデート；

N ニケタミド；

ノルフェネフリン；

O オクトパミン；

オキシロフリン(メチルシネフリン)；

P ペモリン；

ペンテトラゾール；

フェネチルアミンおよびその誘導体；

フェンメトラジン；

フェンプロメタミン；

プロピルヘキセドリン；

プソイドエフェドリン****；

- S** セレギリン；
シブトラミン；
ストリキニーネ；
- T** テナンフェタミン（メチレンジオキシアンフェタミン）；
ツアミノヘプタン；

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

但し以下のものは除く：

- クロニジン
- 局所/眼科用に使用されるイミダゾール誘導体および 2016 年監視プログラム*に含まれる興奮薬

*ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドール、シネフリン：これらの物質は 2016 年監視プログラムに含まれ、**禁止物質とみなさない。**

** カチン：尿中濃度 5 µg /mL を超える場合は禁止される。

*** エフェドリンとメチルエフェドリン：尿中濃度 10 µg/mL を超える場合は禁止される。

**** エピネフリン(アドレナリン)：局所使用(鼻、眼等)あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されない。

***** プソイドエフェドリン：尿中濃度 150 µg /mL を超える場合は禁止される。

S7. 麻薬

以下の物質は禁止される：

- B** ブプレノルフィン；
- D** デキストロモラミド；
ジアモルヒネ（ヘロイン）；
- F** フェンタニル及び誘導体；
- H** ヒドロモルフォン；
- M** メサドン；
モルヒネ；
- O** オキシコドン；
オキシモルフォン；
- P** ペンタゾシン；
ペチジン。

※JADA 訳注：このセクションには国内法の麻薬以外の物質が含まれる。

S8. カンナビノイド

以下の物質は禁止される：

- 天然（大麻、ハシシュおよびマリファナ等）あるいは合成 Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール（THC）
- カンナビノイド様物質（“スパイス”、JWH018、JWH073、HU-210 等）

S9. 糖質コルチコイド

糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止される。

特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

以下の競技において、アルコール（エタノール）は**競技会（時）**に限って禁止される。検出方法は、呼気分析および/または血液分析である。ドーピング違反が成立する閾値は血中アルコール濃度 0.10g/L と同等の濃度である。

- 航空スポーツ（国際航空連盟：FAI）
- アーチェリー（国際アーチェリー連盟：WA）
- 自動車（国際自動車連盟：FIA）
- パワーボート（国際パワーボート連合：UIM）

P2. ベータ遮断薬

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において**競技会（時）**に限って禁止される。指示がある場合は**競技会外**においても禁止される。

- アーチェリー（国際アーチェリー連盟：WA）*
- 自動車（国際自動車連盟：FIA）
- ビリヤード（全ての種目）（世界ビリヤード・スポーツ連合：WCBS）
- ダーツ（世界ダーツ連盟：WDF）
- ゴルフ（国際ゴルフ連盟：IGF）
- 射撃（国際射撃連盟：ISSF、国際パラリンピック委員会：IPC）*
- スキー/スノーボード（国際スキー連盟：FIS）－ ジャンプ、フリースタイル（エアリアル/ハーフパイプ）、スノーボード（ハーフパイプ/ビッグエアー）
- 水中スポーツ（世界水中連盟：CMAS）コンスタント・ウェイト アブネア（フィンありフィンなし）、ダイナミック アブネア（フィンありフィンなし）、フリーイマージョン アブネア、ジャンプ ブルー アブネア、スピアフィッシング、スタティック アブネア、ターゲットシューティングおよびバリアブル ウェイト アブネア

***競技会外**においても禁止される。

ベータ遮断薬としては、以下の物質が含まれるが、これらに限定するものではない：

- | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------------|
| [A] アセプトロール； | カルベジロール； | [N] ナドロール； |
| アルプレノロール； | セリプロロール； | [O] オクスプレノロール； |
| アテノロール； | [E] エスモロール； | [P] ピンドロール； |
| [B] ベタキソロール； | [L] ラベタロール； | プロプラノロール； |
| ビソプロロール； | レボプロロール； | [S] ソタロール； |
| ブノロール； | [M] メチプラノロール； | [T] チモロール |
| [C] カルテオロール； | メトプロロール； | |

2016 年禁止表

主要な変更の要約と注釈

常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

禁止物質

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- 絨毛性ゴナドトロピンおよび黄体形成ホルモン放出因子の一般的な例示としてトリプトレリンをリュープロレリンに置き換えた。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- 全てのインスリン受容体作動薬を含むために、インスリン模倣物質という文言が禁止表へ追加された。
- メルドニウム(ミルドロネート)は、競技力向上目的で競技者によって使用された事実があるため追加された。

S5. 利尿薬および隠蔽薬

- 炭酸脱水酵素阻害薬の眼科用使用が許可されることが明確化された。

競技会(時)に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

- クロニジンが許可されることが明確化された。

特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

- 国際モーターサイクル連盟(FIM)の要望を考慮し、ドーピング物質としてアルコールを禁止している競技リストから連盟を削除した。
FIM が自身の規則でアルコールの使用について対応するものと WADA は了解している。

IN ACCORDANCE WITH ARTICLE 4.2.2 OF THE WORLD ANTI-DOPING CODE, ALL *PROHIBITED SUBSTANCES* SHALL BE CONSIDERED AS “*SPECIFIED SUBSTANCES*” EXCEPT SUBSTANCES IN CLASSES S1, S2, S4.4, S4.5, S6.a, AND *PROHIBITED METHODS* M1, M2 AND M3.

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED AT ALL TIMES

(IN- AND OUT-OF-COMPETITION)

PROHIBITED SUBSTANCES

S0 NON-APPROVED SUBSTANCES

Any pharmacological substance which is not addressed by any of the subsequent sections of the *List* and with no current approval by any governmental regulatory health authority for human therapeutic use [e.g. drugs under pre-clinical or clinical development or discontinued, designer drugs, substances approved only for veterinary use] is prohibited at all times.

S1 ANABOLIC AGENTS

Anabolic agents are prohibited.

1. ANABOLIC ANDROGENIC STEROIDS (AAS)

a. Exogenous* AAS, including:

1-Androstenediol [5 α -androst-1-ene-3 β ,17 β -diol];
1-Androstenedione [5 α -androst-1-ene-3,17-dione];
1-Testosterone [17 β -hydroxy-5 α -androst-1-en-3-one];
4-Hydroxytestosterone [4,17 β -dihydroxyandrost-4-en-3-one];
19-Norandrostenedione [estr-4-ene-3,17-dione];
Bolandioli (estr-4-ene-3 β ,17 β -diol);
Bolasterone;
Boldenone;
Boldione [androsta-1,4-diene-3,17-dione];
Calusterone;
Clostebol;
Danazol [(1,2)oxazolo[4',5':2,3]pregna-4-en-20-yn-17 α -ol];
Dehydrochlormethyltestosterone [4-chloro-17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one];
Desoxymethyltestosterone [17 α -methyl-5 α -androst-2-en-17 β -ol];
Drostanolone;
Ethylestrenol [19-norpregna-4-en-17 α -ol];
Fluoxymesterone;
Formebolone;
Furazabol [17 α -methyl [1,2,5]oxadiazolo[3',4':2,3]-5 α -androst-17 β -ol];

Gestrinone;
Mestanolone;
Mesterolone;
Metandienone [17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one];
Metenolone;
Methandriol;
Methasterone [17 β -hydroxy-2 α ,17 α -dimethyl-5 α -androst-3-one];
Methylidienolone [17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9-dien-3-one];
Methyl-1-testosterone [17 β -hydroxy-17 α -methyl-5 α -androst-1-en-3-one];
Methylnortestosterone [17 β -hydroxy-17 α -methylestr-4-en-3-one];
Methyltestosterone;
Metribolone [methyltrienolone, 17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9,11-trien-3-one];
Mibolerone;
Nandrolone;
Norbolethone;
Norclostebol;
Norethandrolone;
Oxabolone;
Oxandrolone;
Oxymesterone;
Oxymetholone;
Prostanozol [17 β -[(tetrahydropyran-2-yl)oxy]-1'H-pyrazolo[3,4:2,3]-5 α -androstane];
Quinbolone;
Stanozolol;
Stenbolone;
Tetrahydrogestrinone [17-hydroxy-18 α -homo-19-nor-17 α -pregna-4,9,11-trien-3-one];
Trenbolone [17 β -hydroxyestr-4,9,11-trien-3-one];

and other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

b. Endogenous AAS when administered exogenously:**

Androstenediol (androst-5-ene-3 β ,17 β -diol);
Androstenedione (androst-4-ene-3,17-dione);
Dihydrotestosterone (17 β -hydroxy-5 α -androstan-3-one);
Prasterone (dehydroepiandrosterone, DHEA,
3 β -hydroxyandrost-5-en-17-one);
Testosterone;

and their metabolites and isomers, including but not limited to:

3 β -Hydroxy-5 α -androstan-17-one;
5 α -Androstane-3 α ,17 α -diol;
5 α -Androstane-3 α ,17 β -diol;
5 α -Androstane-3 β ,17 α -diol;
5 α -Androstane-3 β ,17 β -diol;
5 β -Androstane-3 α ,17 β -diol;
7 α -Hydroxy-DHEA;
7 β -Hydroxy-DHEA;
4-Androstenediol (androst-4-ene-3 β ,17 β -diol)
5-Androstenedione (androst-5-ene-3,17-dione);
7-Keto-DHEA;
19-Norandrosterone;
19-Noretiocholanolone.
Androst-4-ene-3 α ,17 α -diol;
Androst-4-ene-3 α ,17 β -diol;
Androst-4-ene-3 β ,17 α -diol;
Androst-5-ene-3 α ,17 α -diol;
Androst-5-ene-3 α ,17 β -diol;
Androst-5-ene-3 β ,17 α -diol;
Androsterone
Epi-dihydrotestosterone;
Epitestosterone;
Etiocholanolone.

2. OTHER ANABOLIC AGENTS

Including, but not limited to:

Clenbuterol, selective androgen receptor modulators (SARMs, e.g. andarine and ostarine), tibolone, zeranol and zilpaterol.

For purposes of this section:

- * "exogenous" refers to a substance which is not ordinarily produced by the body naturally.
- ** "endogenous" refers to a substance which is ordinarily produced by the body naturally.

S2 PEPTIDE HORMONES, GROWTH FACTORS, RELATED SUBSTANCES AND MIMETICS

The following substances, and other substances with similar chemical structure or similar biological effect(s), are prohibited:

1. Erythropoietin-Receptor agonists:

- 1.1** Erythropoiesis-Stimulating Agents (ESAs) including e.g. Darbepoietin (dEPO); Erythropoietins (EPO); EPO-Fc; EPO-mimetic peptides (EMP), e.g. CNTO 530 and peginesatide; methoxy polyethylene glycol-epoetin beta (CERA).

1.2 Non-erythropoietic EPO-Receptor agonists, e.g.

ARA-290;
asialo EPO;
carbamylated EPO.

2. Hypoxia-inducible factor (HIF) stabilizers, e.g. cobalt and FG-4592; and HIF activators, e.g. argon, xenon;

3. Chorionic Gonadotrophin (CG) and Luteinizing Hormone (LH) and their releasing factors, e.g. buserelin, gonadorelin and leuporelin, in males;

4. Corticotrophins and their releasing factors, e.g. corticorelin;

5. Growth Hormone (GH) and its releasing factors including: Growth Hormone Releasing Hormone (GHRH) and its analogues, e.g. CJC-1295, sermorelin and tesamorelin; Growth Hormone Secretagogues (GHS), e.g. ghrelin and ghrelin mimetics, e.g. anamorelin and ipamorelin; GH-Releasing Peptides (GHRPs), e.g. alexamorelin, GHRP-6, hexarelin and pralmorelin (GHRP-2).

Additional prohibited growth factors:

Fibroblast Growth Factors (FGFs);
Hepatocyte Growth Factor (HGF);
Insulin-like Growth Factor-1 (IGF-1) and its analogues;
Mechano Growth Factors (MGFs);
Platelet-Derived Growth Factor (PDGF);
Vascular-Endothelial Growth Factor (VEGF)

and any other growth factor affecting muscle, tendon or ligament protein synthesis/degradation, vascularisation, energy utilization, regenerative capacity or fibre type switching.

S3 BETA-2 AGONISTS

All beta-2 agonists, including all optical isomers, e.g. *d*- and *l*- where relevant, are prohibited.

Except:

- Inhaled salbutamol (maximum 1600 micrograms over 24 hours);
- Inhaled formoterol (maximum delivered dose 54 micrograms over 24 hours); and
- Inhaled salmeterol in accordance with the manufacturers' recommended therapeutic regimen.

The presence in urine of salbutamol in excess of 1000 ng/mL or formoterol in excess of 40 ng/mL is presumed not to be an intended therapeutic use of the substance and will be considered as an *Adverse Analytical Finding (AAF)* unless the *Athlete* proves, through a controlled pharmacokinetic study, that the abnormal result was the consequence of the use of the therapeutic inhaled dose up to the maximum indicated above.

S4 HORMONE AND METABOLIC MODULATORS

The following hormone and metabolic modulators are prohibited:

1. Aromatase inhibitors including, but not limited to:
4-Androstene-3,6,17 trione (6-oxo);
Aminoglutethimide;
Anastrozole;
Androsta-1,4,6-triene-3,17-dione (androstatrienedione);
Exemestane;
Formestane;
Letrozole;
Testolactone.
2. Selective estrogen receptor modulators (SERMs) including, but not limited to:
Raloxifene;
Tamoxifen;
Toremifene.
3. Other anti-estrogenic substances including, but not limited to:
Clomiphene;
Cyclofenil;
Fulvestrant.
4. Agents modifying myostatin function(s) including, but not limited, to: myostatin inhibitors.
5. Metabolic modulators:
 - 5.1 Activators of the AMP-activated protein kinase (AMPK), e.g. AICAR; and
Peroxisome Proliferator Activated Receptor δ (PPAR δ) agonists, e.g. GW 1516;
 - 5.2 Insulins and insulin-mimetics;
 - 5.3 Meldonium;
 - 5.4 Trimetazidine.

S5 DIURETICS AND MASKING AGENTS

The following diuretics and masking agents are prohibited, as are other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Including, but not limited to:

- Desmopressin; probenecid; plasma expanders, e.g. glycerol and intravenous administration of albumin, dextran, hydroxyethyl starch and mannitol.
- Acetazolamide; amiloride; bumetanide; canrenone; chlortalidone; etacrynic acid; furosemide; indapamide; metolazone; spironolactone; thiazides, e.g. bendroflumethiazide, chlorothiazide and hydrochlorothiazide; triamterene and vaptans, e.g. tolvaptan.

Except:

- Drospirenone; pamabrom; and ophthalmic use of carbonic anhydrase inhibitors (e.g. dorzolamide, brinzolamide).
- Local administration of felypressin in dental anaesthesia.

The detection in an *Athlete's Sample* at all times or *In-Competition*, as applicable, of any quantity of the following substances subject to threshold limits: formoterol, salbutamol, cathine, ephedrine, methylephedrine and pseudoephedrine, in conjunction with a diuretic or masking agent, will be considered as an *Adverse Analytical Finding* unless the *Athlete* has an approved *TUE* for that substance in addition to the one granted for the diuretic or masking agent.

PROHIBITED METHODS

M1 MANIPULATION OF BLOOD AND BLOOD COMPONENTS

The following are prohibited:

1. The *Administration* or reintroduction of any quantity of autologous, allogenic (homologous) or heterologous blood, or red blood cell products of any origin into the circulatory system.
2. Artificially enhancing the uptake, transport or delivery of oxygen. Including, but not limited to: Perfluorochemicals; efaproxiral (RSR13) and modified haemoglobin products, e.g. haemoglobin-based blood substitutes and microencapsulated haemoglobin products, excluding supplemental oxygen.
3. Any form of intravascular manipulation of the blood or blood components by physical or chemical means.

M2 CHEMICAL AND PHYSICAL MANIPULATION

The following are prohibited:

1. *Tampering, or Attempting to Tamper*, to alter the integrity and validity of *Samples* collected during *Doping Control*.
Including, but not limited to:
Urine substitution and/or adulteration, e.g. proteases.
2. Intravenous infusions and/or injections of more than 50 mL per 6 hour period except for those legitimately received in the course of hospital admissions, surgical procedures or clinical investigations.

M3 GENE DOPING

The following, with the potential to enhance sport performance, are prohibited:

1. The transfer of polymers of nucleic acids or nucleic acid analogues;
2. The use of normal or genetically modified cells.

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED IN-COMPETITION

IN ADDITION TO THE CATEGORIES S0 TO S5 AND M1 TO M3 DEFINED ABOVE, THE FOLLOWING CATEGORIES ARE PROHIBITED *IN-COMPETITION*:

PROHIBITED SUBSTANCES

S6

STIMULANTS

All stimulants, including all optical isomers, e.g. *d*- and *l*- where relevant, are prohibited.

Stimulants include:

a: Non-Specified Stimulants:

Adrafinil;
Amfepramone;
Amfetamine;
Amfetaminil;
Amiphenazole;
Benfluorex;
Benzylpiperazine;
Bromantan;
Clobenzorex;
Cocaine;
Cropropamide;
Crotetamide;
Fencamine;
Fenetylline;
Fenfluramine;
Fenproporex;
Fonturacetam [4-phenylpiracetam (carphedon)];
Furfenorex;
Mefenorex;
Mephentermine;
Mesocarb;
Metamfetamine(d-);
p-Methylamphetamine;
Modafinil;
Norfenfluramine;
Phendimetrazine;
Phentermine;
Prenylamine;
Prolintane.

A stimulant not expressly listed in this section is a Specified Substance.

b: Specified Stimulants.

Including, but not limited to:

Benzfetamine;
Cathine**;
Cathinone and its analogues, e.g. mephedrone, methedrone, and α -pyrrolidinovalerophenone;
Dimethylamphetamine;
Ephedrine***;
Epinephrine**** (adrenaline);
Etamivan;
Etilamphetamine;
Etilefrine;
Famprofazone;
Fenbutrazate;
Fencamfamin;
Heptaminol;
Hydroxyamphetamine (parahydroxyamphetamine);
Isometheptene;
Levmetamfetamine;
Meclofenoxate;
Methylenedioxymethamphetamine;
Methylephedrine***;
Methylhexaneamine (dimethylpentylamine);
Methylphenidate;
Nikethamide;
Norfenefrine;
Octopamine;
Oxilofrine (methylsynephrine);
Pemoline;
Pentetrazol;
Phenethylamine and its derivatives;
Phenmetrazine;
Phenpromethamine;
Propylhexedrine;
Pseudoephedrine*****;
Selegiline;

Sibutramine;
Strychnine;
Tenamfetamine (methylenedioxyamphetamine);
Tuaminoheptane;

and other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Except:

- Clonidine
- Imidazole derivatives for topical/ophthalmic use and those stimulants included in the 2016 Monitoring Program*.

* Bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol, and synephrine: These substances are included in the 2016 Monitoring Program, and are not considered *Prohibited Substances*.

** Cathine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 5 micrograms per milliliter.

*** Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per milliliter.

**** Epinephrine (adrenaline): Not prohibited in local administration, e.g. nasal, ophthalmologic, or co-administration with local anaesthetic agents.

***** Pseudoephedrine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 150 micrograms per milliliter.

S7 NARCOTICS

Prohibited:

Buprenorphine;
Dextromoramide;
Diamorphine (heroin);
Fentanyl and its derivatives;
Hydromorphone;
Methadone;
Morphine;
Oxycodone;
Oxymorphone;
Pentazocine;
Pethidine.

S8 CANNABINOIDS

Prohibited:

- Natural, e.g. cannabis, hashish and marijuana, or synthetic Δ^9 -tetrahydrocannabinol (THC).
- Cannabimimetics, e.g. "Spice", JWH-018, JWH-073, HU-210.

S9 GLUCOCORTICOIDS

All glucocorticoids are prohibited when administered by oral, intravenous, intramuscular or rectal routes.

SUBSTANCES PROHIBITED IN PARTICULAR SPORTS

P1 ALCOHOL

Alcohol (ethanol) is prohibited *In-Competition* only, in the following sports. Detection will be conducted by analysis of breath and/or blood. The doping violation threshold is equivalent to a blood alcohol concentration of 0.10 g/L.

- Air Sports (FAI)
- Archery (WA)
- Automobile (FIA)
- Powerboating (UIM)

P2 BETA-BLOCKERS

Beta-blockers are prohibited *In-Competition* only, in the following sports, and also prohibited *Out-of-Competition* where indicated.

- Archery (WA)*
- Automobile (FIA)
- Billiards (all disciplines) (WCBS)
- Darts (WDF)
- Golf (IGF)
- Shooting (ISSF, IPC)*
- Skiing/Snowboarding (FIS) in ski jumping, freestyle aerials/halfpipe and snowboard halfpipe/big air
- Underwater sports (CMAS) in constant-weight apnoea with or without fins, dynamic apnoea with and without fins, free immersion apnoea, Jump Blue apnoea, spearfishing, static apnoea, target shooting and variable weight apnoea.

*Also prohibited *Out-of-Competition*

Including, but not limited to:

Acebutolol;	Labetalol;
Alprenolol;	Levobunolol;
Atenolol;	Metipranolol;
Betaxolol;	Metoprolol;
Bisoprolol;	Nadolol;
Bunolol;	Oxprenolol;
Carteolol;	Pindolol;
Carvedilol;	Propranolol;
Celiprolol;	Sotalol;
Esmolol;	Timolol.

2016 Prohibited List

Summary of Major Modifications and Explanatory Notes

SUBSTANCES AND METHODS PROHIBITED AT ALL TIMES (IN- AND OUT-OF-COMPETITION)

PROHIBITED SUBSTANCES

S2: Peptide hormones, Growth Factors, Related Substances and Mimetics

- Leuprorelin replaced triptorelin as a more universal example of a chorionic gonadotrophin and luteinizing hormone-releasing factor.

S4: Hormone and Metabolic Modulators

- Insulin-mimetics were added to the List to include all insulin-receptor agonists.
- Meldonium (Mildronate) was added because of evidence of its use by athletes with the intention of enhancing performance.

S5: Diuretics and Masking Agents

- It was clarified that the ophthalmic use of carbonic anhydrase inhibitors is permitted.

SUBSTANCES AND METHODS PROHIBITED IN-COMPETITION

S6: Stimulants:

- It was clarified that clonidine is permitted.

SUBSTANCES PROHIBITED IN PARTICULAR SPORTS

P1: Alcohol:

- After consideration of the Federation International de Motocyclisme (FIM)'s request, their Federation was removed from the list of sports prohibiting alcohol as a doping agent.
WADA understands that FIM will address the use of alcohol using their own regulations.



2016 年監視プログラム*

以下の物質が 2016 年監視プログラムに掲載される：

1. 興奮薬： **競技会（時）のみ**： ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン
2. 麻薬： **競技会（時）のみ**： ミトラギニン、トラマドール
3. 糖質コルチコイド：
 - 競技会（時）**（経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用以外の投与経路）
 - 競技会外**（すべての投与経路）
4. テルミサルタン：**競技会（時）および競技会外**

*世界アンチ・ドーピング規程(4.5)：“WADA は、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されていないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。”

2016 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈

監視プログラム

- メルドニウムは監視プログラムより削除され、禁止表へ追加された。
- ヒドロコドン、モルヒネ/コデイン比およびタベンタドールは監視プログラムより削除された。

THE 2016 MONITORING PROGRAM*

The following substances are placed on the 2016 Monitoring Program:

1. **Stimulants: *In-Competition only:*** *Bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol and synephrine.*
2. **Narcotics: *In-Competition only:*** *Mitragynine and tramadol.*
3. **Glucocorticoids: *In-competition*** *(by routes of administration other than oral, intravenous, intramuscular or rectal) and **Out-of- Competition** (all routes of administration)*
4. **Telmisartan: *In* and *Out-of-Competition***

* *The World Anti-Doping Code (Article 4.5) states: "WADA, in consultation with Signatories and governments, shall establish a monitoring program regarding substances which are not on the Prohibited List, but which WADA wishes to monitor in order to detect patterns of misuse in sport."*

2016 Prohibited List

Summary of Major Modifications and Explanatory Notes

MONITORING PROGRAM

- Meldonium was removed from the Monitoring Program and added to the Prohibited List.
- Hydrocodone, morphine/codeine ratio and tapentadol were removed from the Monitoring Program.

WORLD ANTI-DOPING CODE
The 2016 Prohibited List International Standard

世界アンチ・ドーピング規程
2016 年禁止表国際基準

2016 年 1 月 1 日発効

2015 年 12 月発行

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

